

スポーツ用自転車に関する 耐久調査事業報告書

平成18年12月

財団法人 日本サイクリング協会

まえがき

最近のロードレーサーやMTBは自転車専門誌を見るとまるで自動車の世界のように、毎年イヤーマデルが発表され、部品、用品も含め素材、機能、デザインの更新速度が早くなっているようです。

この傾向が、エンドユーザーにどれ程波及しているかを調査するため、12時間という長い時間走行する大会を通して、参加者の方々の自転車などをアンケート調査しました。

本事業は競輪の収益金により実施しています。報告書が、我国の自転車業界に少しでもお役に立てればと思います。

結果について、今回は回収数が少なく正確なデータとは言い難いのですが、傾向として捉えて頂ければ幸いです。

平成18年11月

財団法人 日本サイクリング協会

調査の概要

今回の状況

1995年にスポーツ用自転車の耐久調査事業のため「全日本12時間耐久サイクリングinつくば」として開始したこの大会は、開始当初から土曜の夜から日曜の朝にかけての時間帯で開催し、1回目こそ30チームそこそこでしたが、回を重ねるに伴い参加チームが増え、昨年は190チームに迫るほどになりました。

今回は安全確保の面から開催時間を昼間に変更したことから、残念ながら参加状況は69チーム、330名と激減してしまい、調査対象の絶対数が少なく、回答票数が126票にとどまってしまいました。

調査方法

調査票は受付時に各チームごとに参加賞キットとして配布し、参加者個々が直接無記名で記入する方法で、レース開始前から閉会宣言まで随時、アンケート協力依頼（景品付き）のアナウンスを行って回収しました。

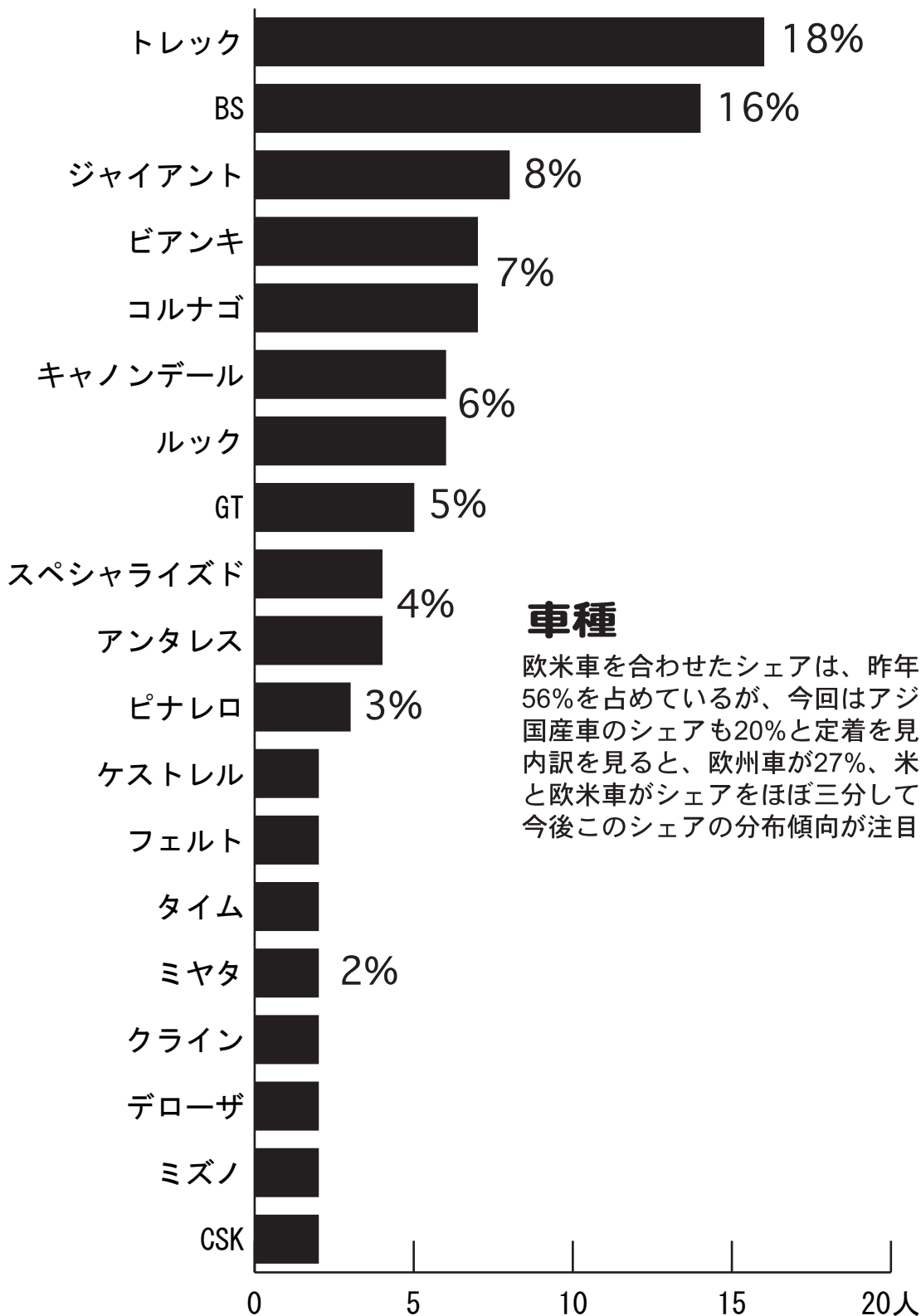
使用メーカー名などこの報告書に記載されているメーカー名などは、回答をそのまま記載しております。

また、回答票数と個々の集計数は回答項目に未記入があるため必ずしも一致しておりません。

参加者は出走準備や休息、自チームの応援などでレースに集中し実際には殆ど時間の余裕がないため、調査票は商品名、型式名、品番などの詳細については問うていません

どんな自転車で参加されますか？

●参加者が使っている、主な自転車メーカー

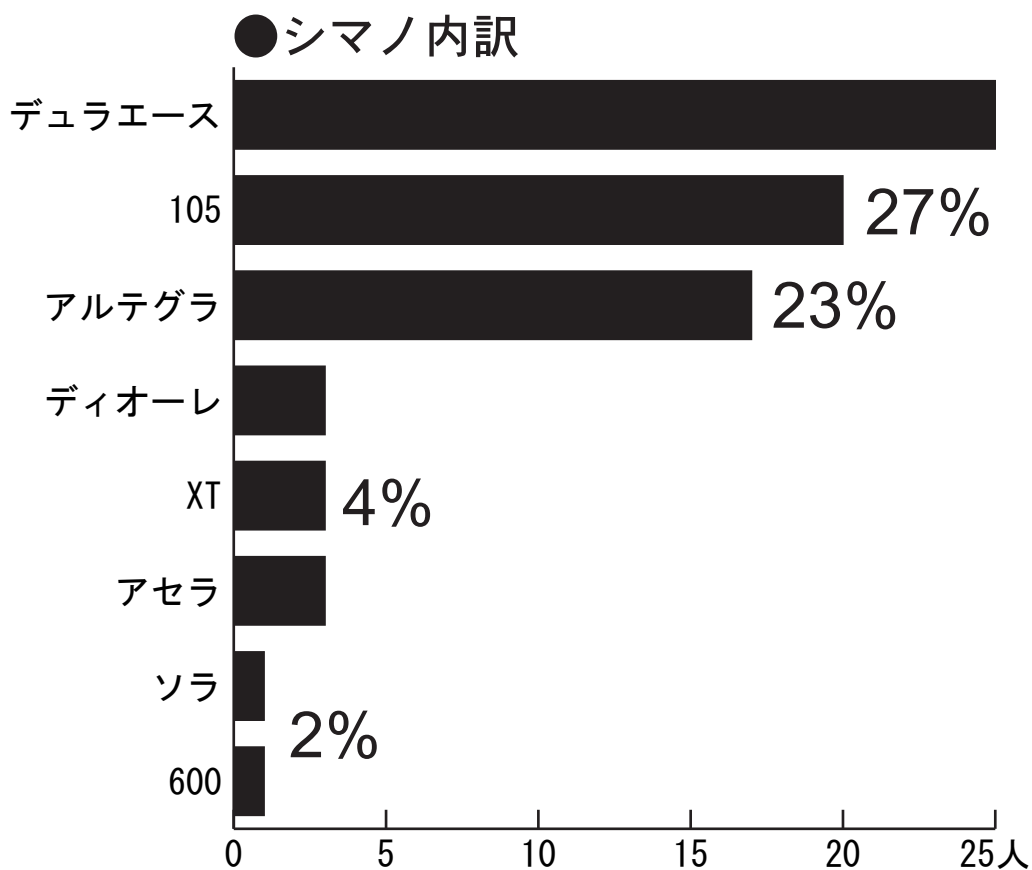
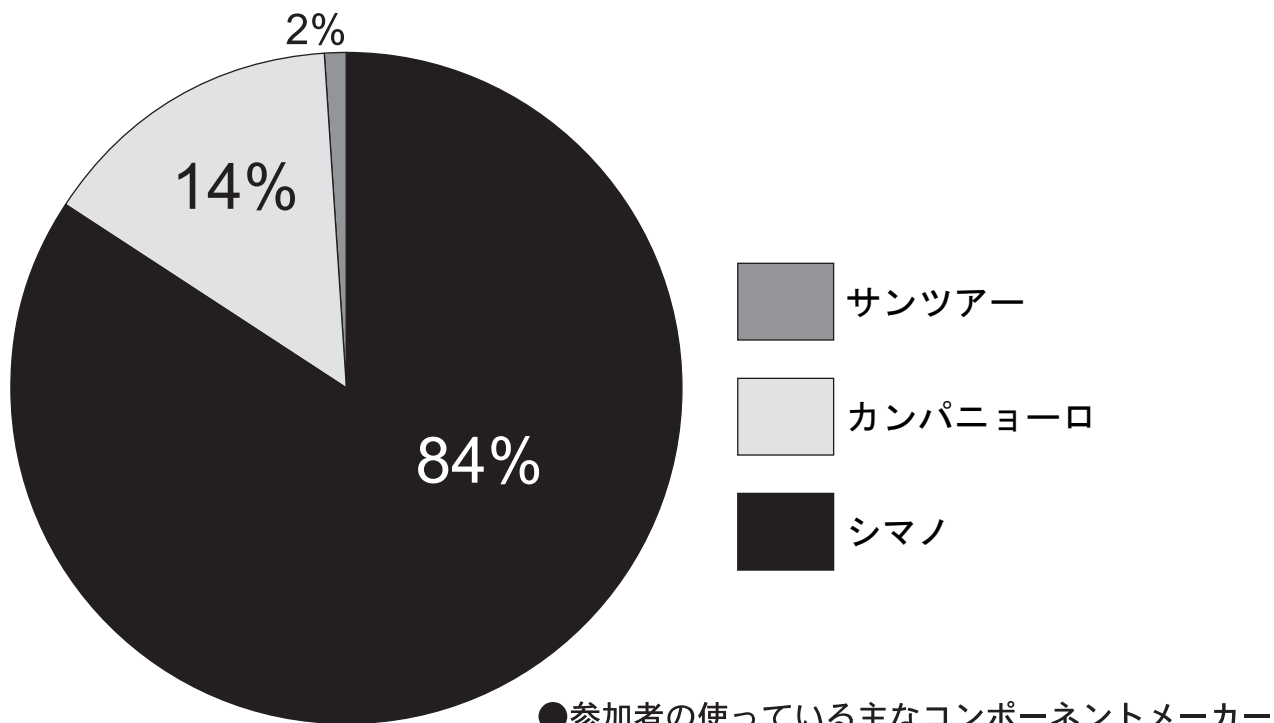


車種

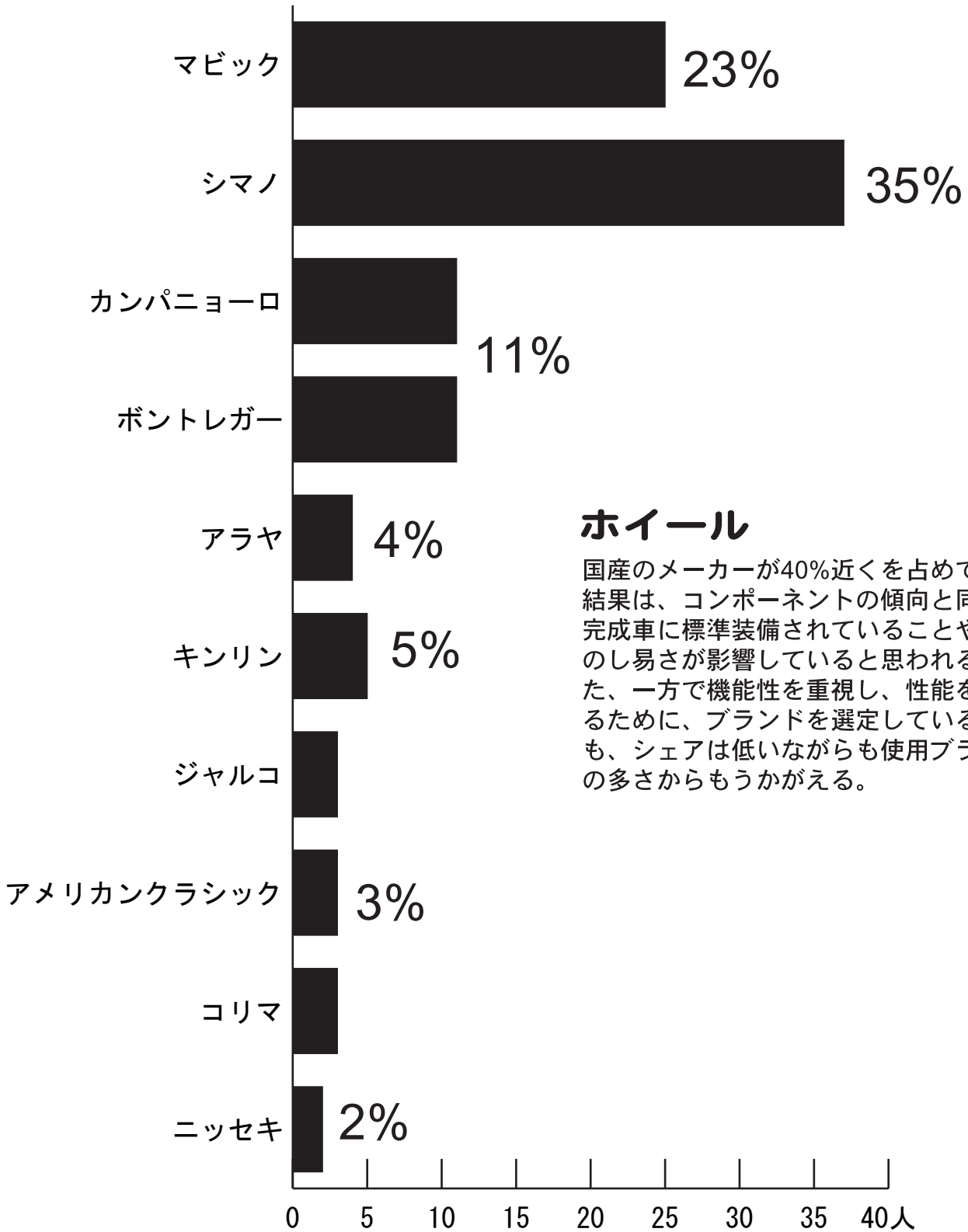
欧米車を合わせたシェアは、昨年同様国産車を上回る56%を占めているが、今回はアジアブランドを凌ぎ、国産車のシェアも20%と定着を見せている。欧米車の内訳を見ると、欧州車が27%、米車が29%と、国産車と欧米車がシェアをほぼ三分していることがわかる。今後このシェアの分布傾向が注目される。

コンポーネント

シマノブランドのシェアは完成車でアッセンブルされる傾向と、アフターメンテやグレードアップのし易さからか、相変わらず80%を超える定着を見せている。一方で老舗のカンパを中心としたヨーロッパブランドも相変わらず確実な支持層を得ている。



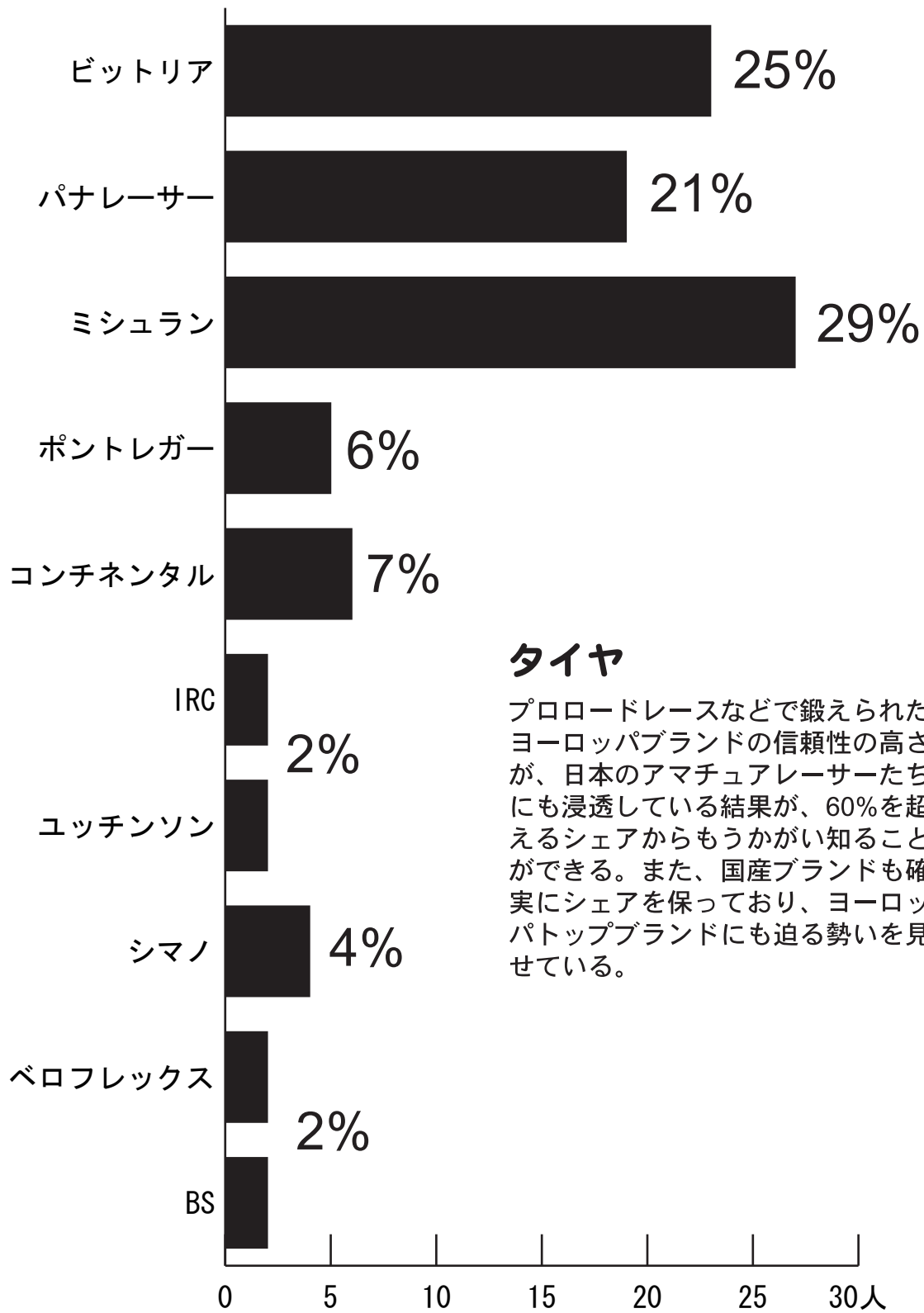
●参加者の使っている主なホイールメーカー



ホイール

国産のメーカーが40%近くを占めている結果は、コンポーネントの傾向と同様、完成車に標準装備されていることや入手のし易さが影響していると思われる。また、一方で機能性を重視し、性能を高めるために、ブランドを選定している傾向も、シェアは低いながらも使用ブランドの多さからもうかがえる。

●主なタイヤのブランド



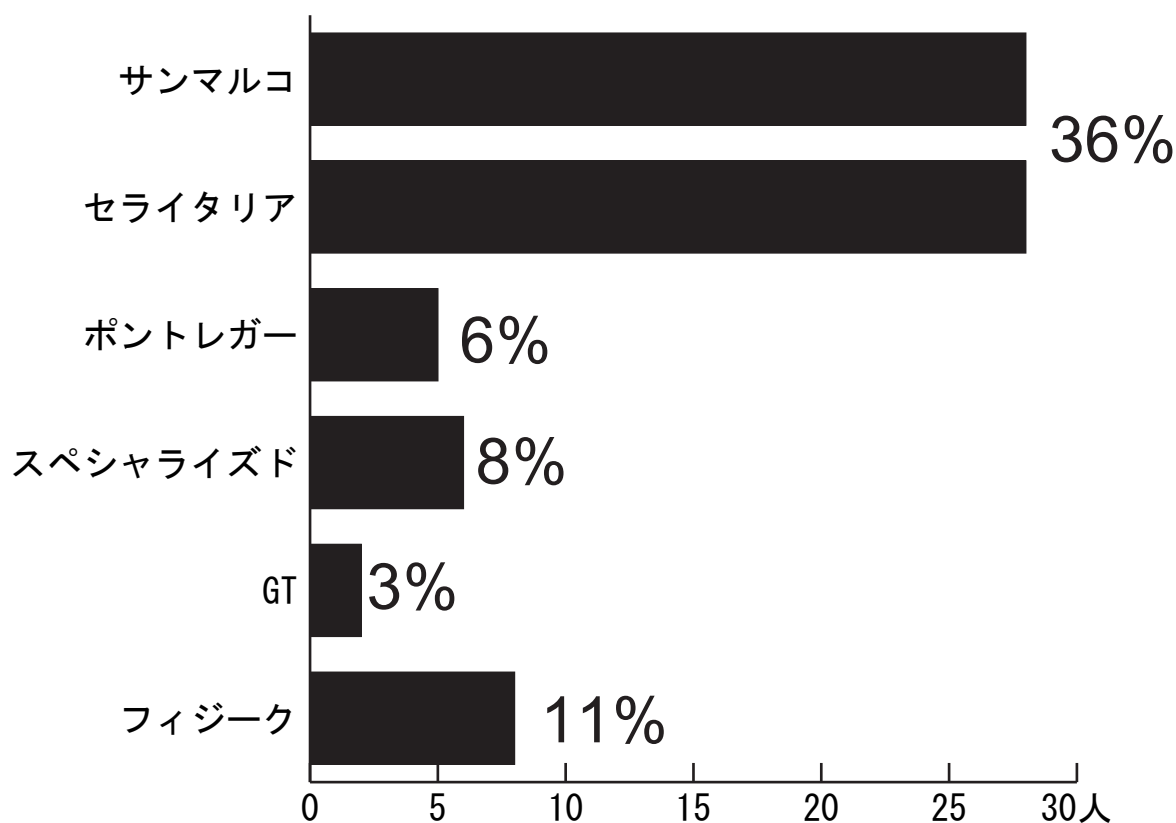
タイヤ

プロロードレースなどで鍛えられたヨーロッパブランドの信頼性の高さが、日本のアマチュアレーサーたちにも浸透している結果が、60%を超えるシェアからもうかがい知ることができる。また、国産ブランドも確実にシェアを保っており、ヨーロッパトップブランドにも迫る勢いを見せている。

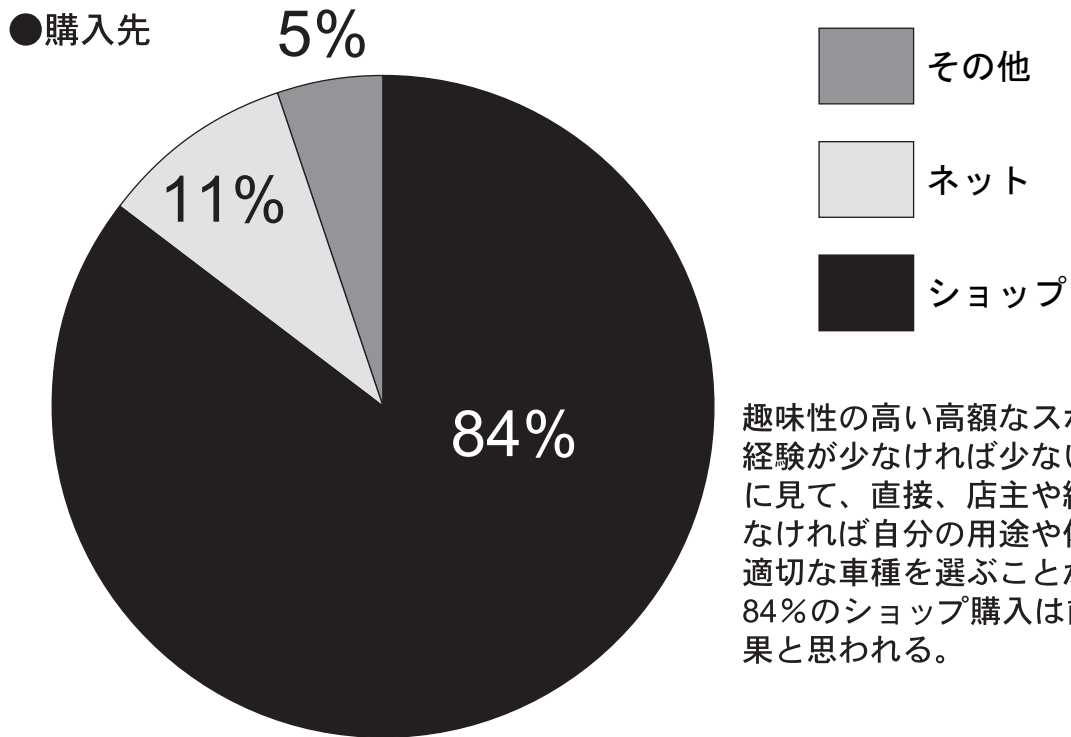
サドル

サドル使用率の欧米化は、今年も止まらない。自転車にとってサドルの快適さや機能性は、直接、乗車中の運動性や体力消耗にまで影響を及ぼすため、プロレースの盛んな欧米のブランドに、その信頼性が集中することは当然の傾向である。また、そのデザイン性の斬新さや新鮮さなど、自転車愛好者の趣味指性や関心を引き付けるに止まらない魅力があることも確かだ。

●主なサドルのブランド



自転車をどこで買いましたか

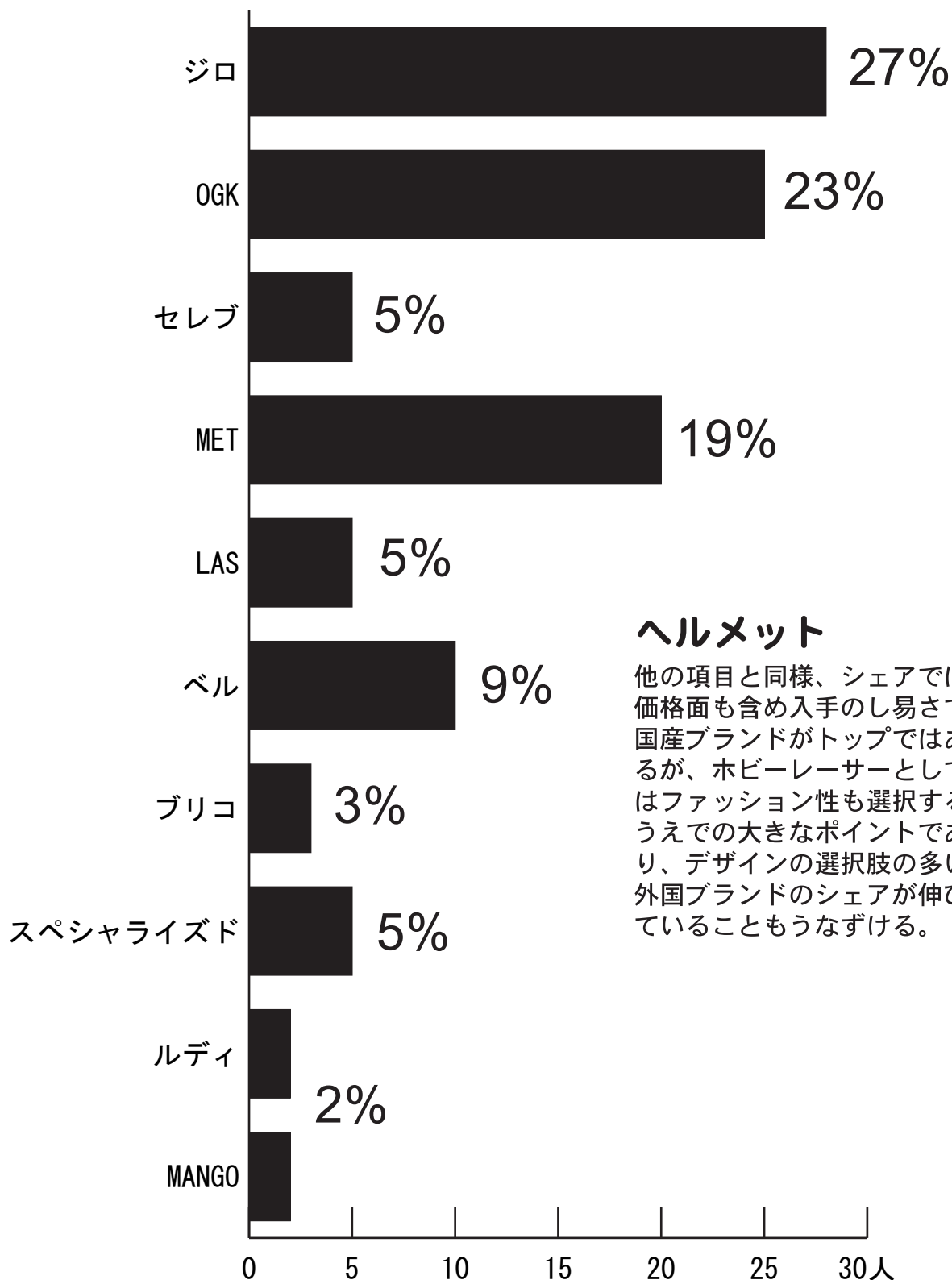


趣味性の高い高額なスポーツ車の購入は、経験が少なければ少ないほど、実物を実際に見て、直接、店主や経験者の話を聞かなければ自分の用途や体格・体力に合った適切な車種を選ぶことができないだけに、84%のショップ購入は前回同様、順当な結果と思われる。



どんな装備で参加されますか？

● 主なヘルメットのブランド

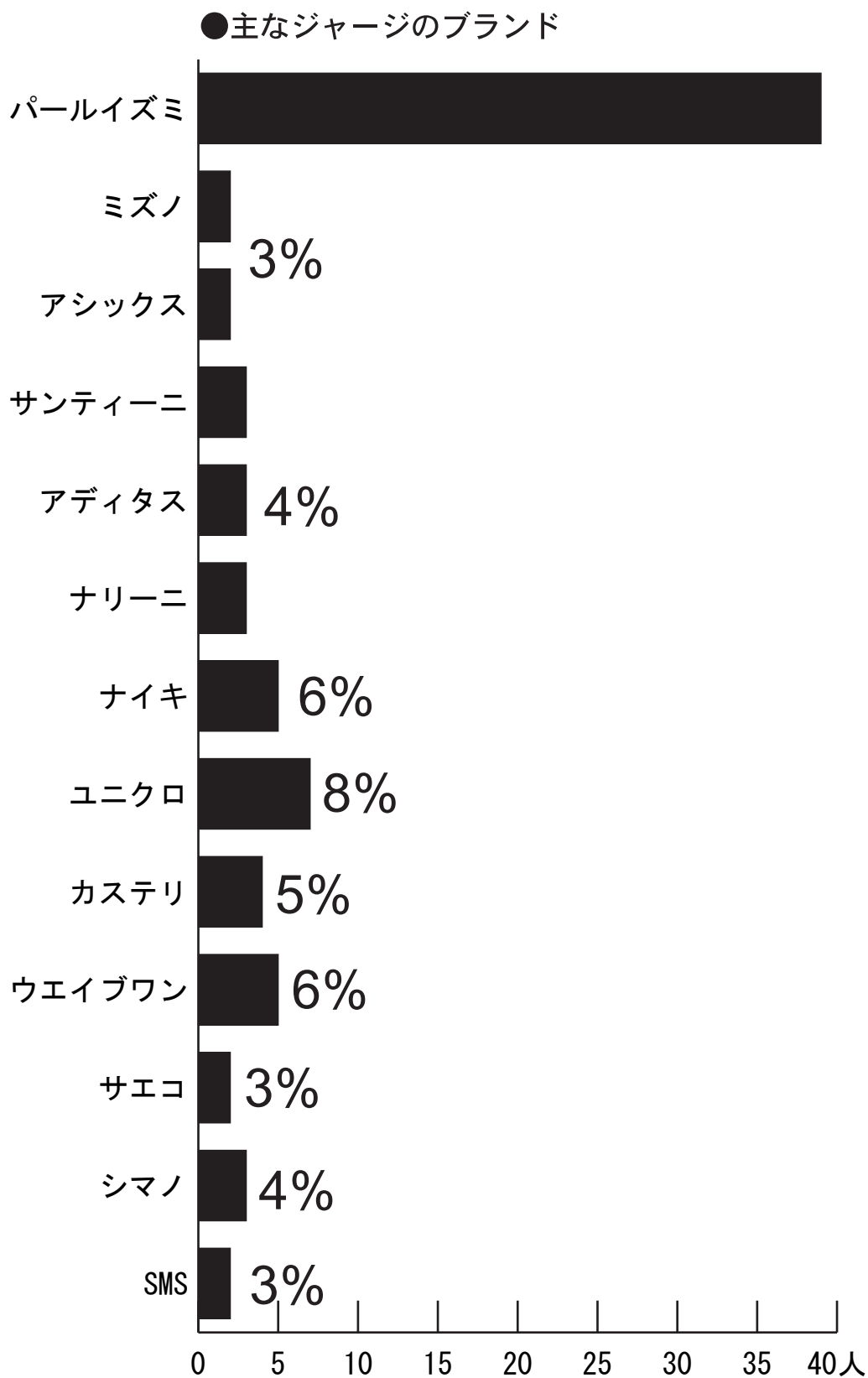


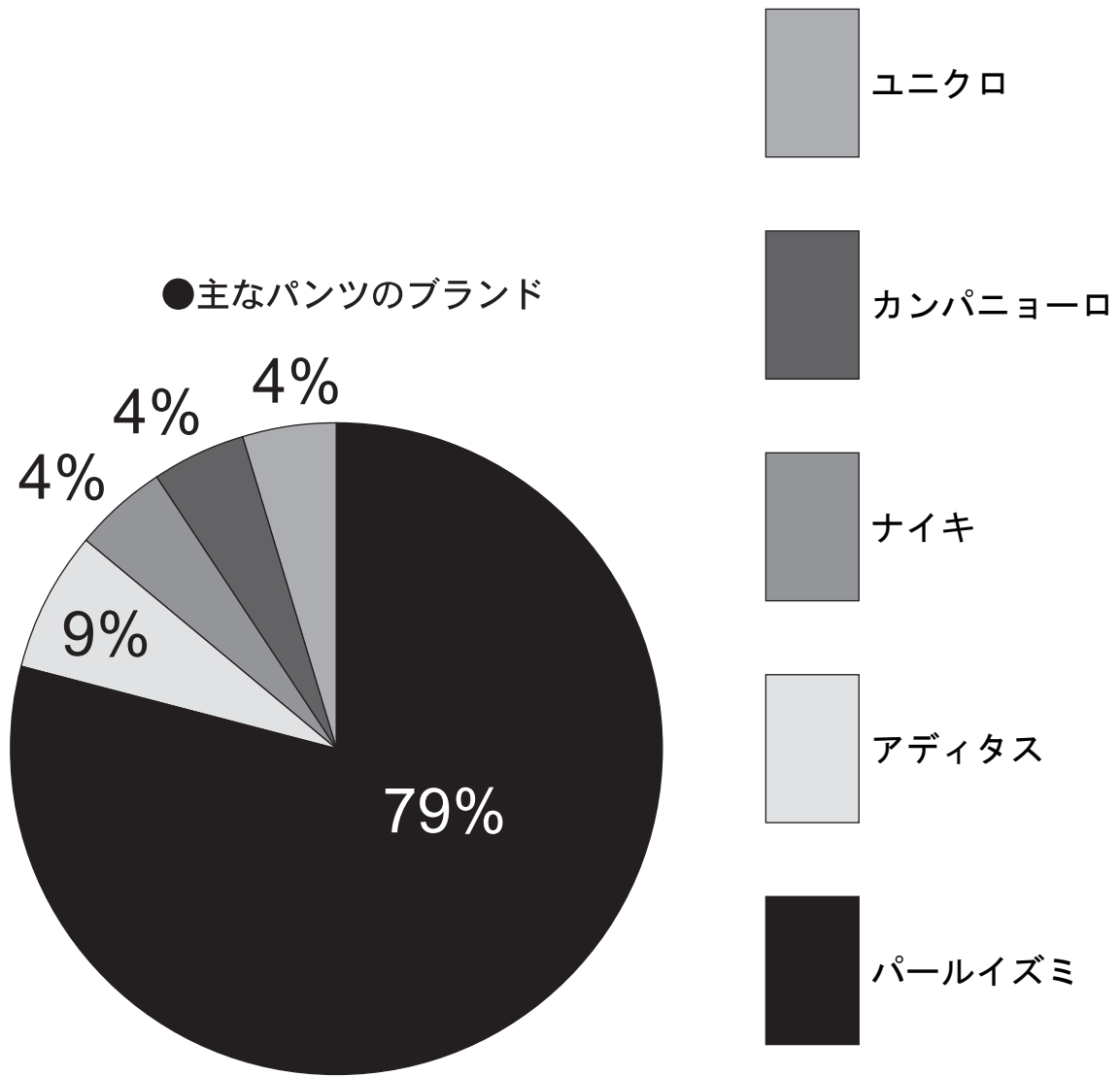
ヘルメット

他の項目と同様、シェアでは価格面も含め入手のし易さで国産ブランドがトップではあるが、ホビーレーサーとしてはファッション性も選択するうえでの大きなポイントであり、デザインの選択肢の多い外国ブランドのシェアが伸びていることもうなずける。

ウェア/ジャージ&パンツ

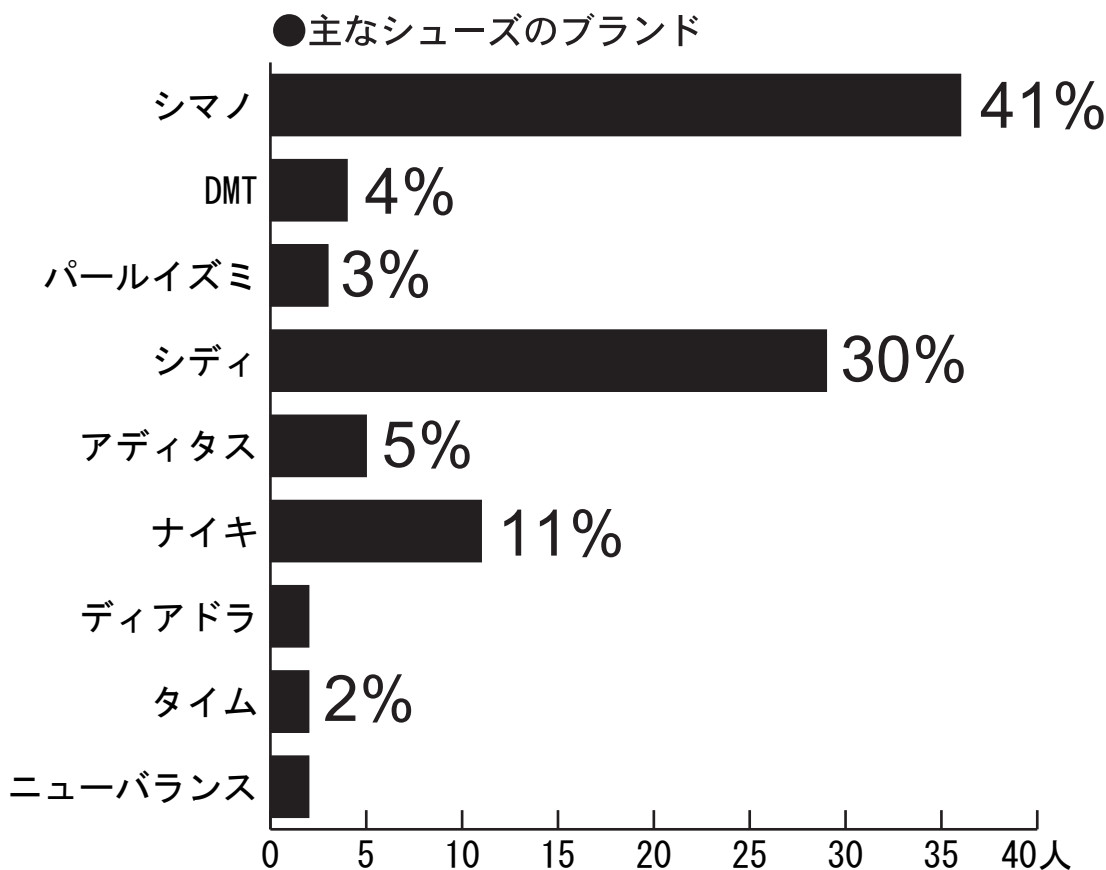
老舗国産メーカーの使用率は50%に迫る勢いで、ユーザー人気は揺るぎないものがある。一方で、多種多様の内外のブランドにもそれぞれの人気が広がりを見せ、自転車愛好者がウェア類で個性を表現しようとする傾向が伺われる。





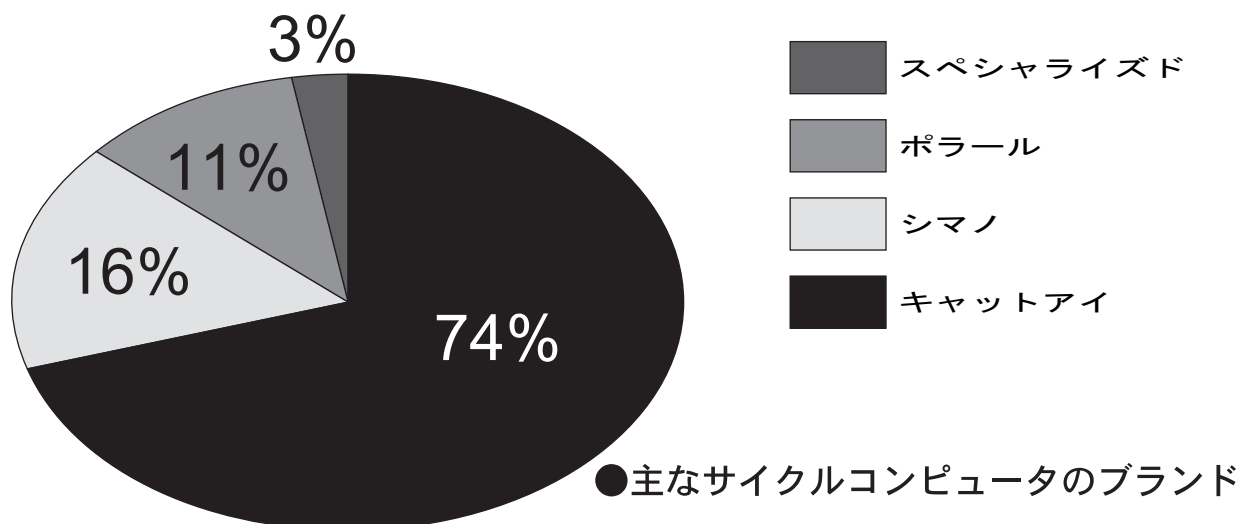
シューズ

相変わらず国産コンポーネントメーカーのシューズ使用率は高く、前出のコンポーネントメーカーの使用率調査結果でも、国産メーカーが80%を超える傾向が、そのままシューズにも現われているようだ。



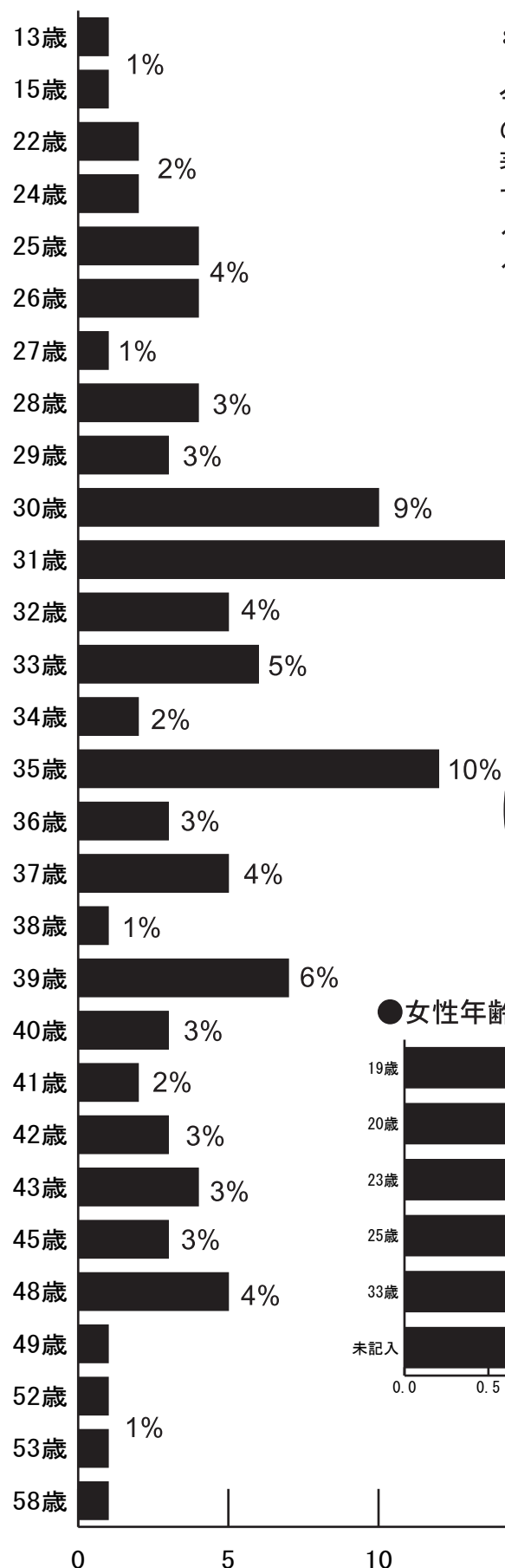
サイクルコンピュータ

使い勝手の良さや価格の手ごろさが、国産ブランドのシェアを高めていることがうかがえる。普及する初期には外国ブランドの台頭も一時あったが、国産の定着率はすでに安定期に入っているようだ。



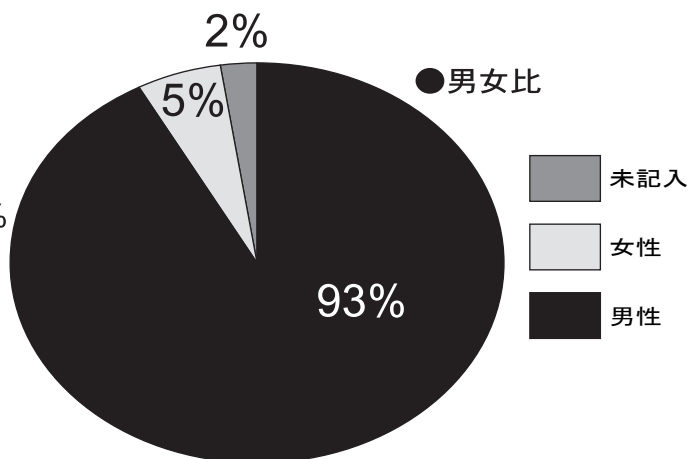
差し支えなければ、プロフィールを教えてください

●男性年齢分布

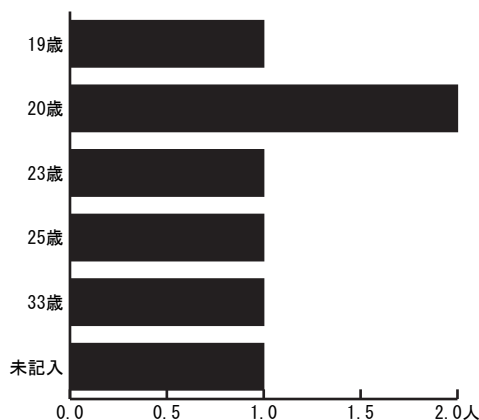


参加者年齢

今年は開催時間の変更の影響か、昨年に比べ女性の参加者が減少し、反対に男性の参加者の伸びが著しく、93%までに達した。年齢的には相変わらず圧倒的に30代の参加者が多く、61%に達している。次いで、40代が19%、20代が19%が続いている。



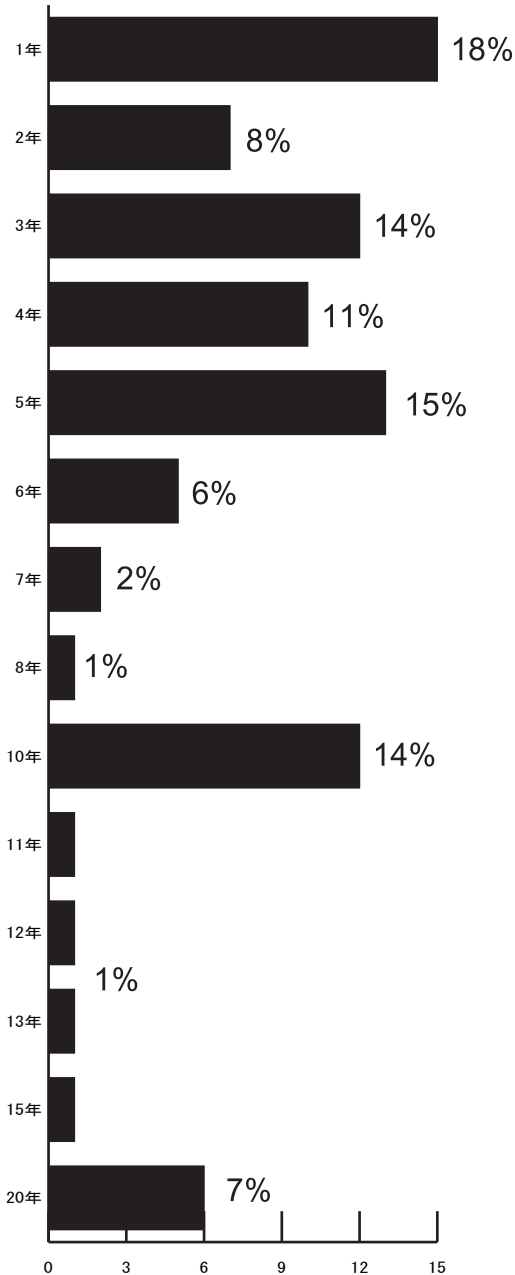
●女性年齢分布



自転車競技歴

5年未満の参加者が66%を占めている傾向は昨年同様で、なかでも1年程度の経験者が18%と多いことが注目される。また10年経験者が14%、20年経験者が7%とベテランの参加も20%を超える傾向にあり、ベテランと初心者がチームを組んで参加するという耐久レースならではの傾向と思われる。

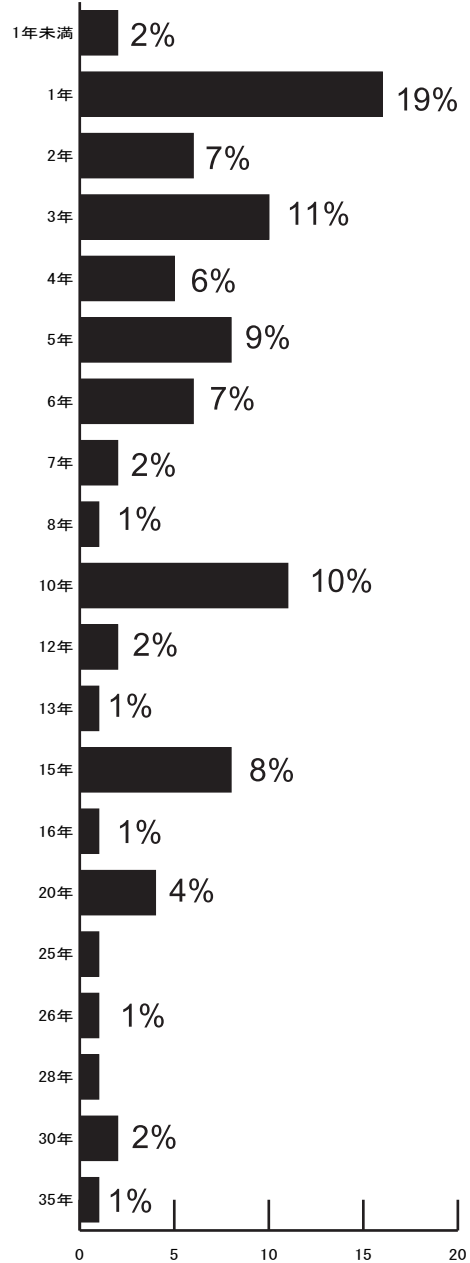
●自転車競技歴年数



サイクリング歴

1年程度の参加者の割合は競技歴と同じような傾向があるが、10年以上になると競技歴のような伸びに欠けるが、反面、耐久レースというレース系イベントにベテランのサイクリング愛好者も参加していること自体、自転車の趣味性の深さを示していると云える。

●サイクリング歴年数



その他の大会参加歴

ロード系への参加が53%、耐久を含めると73%に達する。注目はMTBを凌ぐ勢いでサイクリングが伸びている傾向がうかがえる。

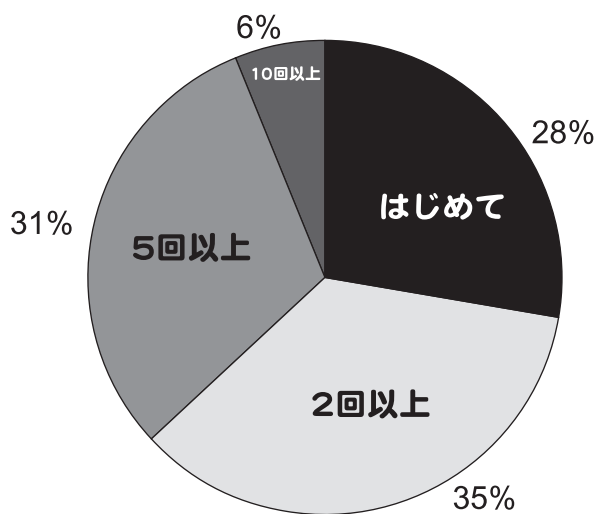
●その他の大会参加歴

14%

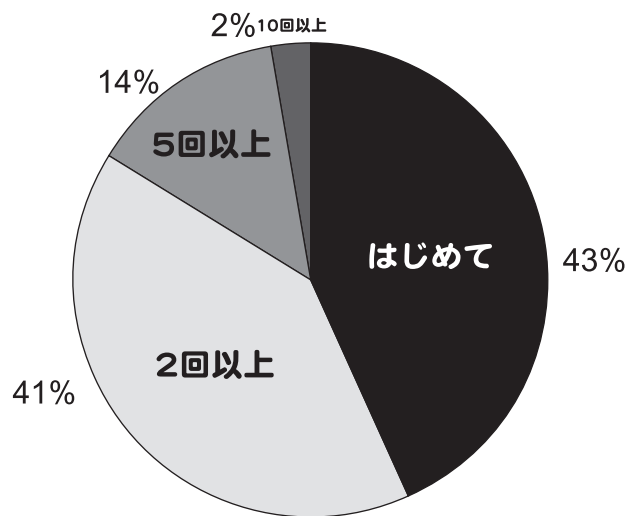
耐久出場歴

8耐、12耐とも、筑波の耐久レースの特色として10回以上の参加者が約2%しかないということは、殆どの参加者は、ある程度耐久レースで経験を積んで“卒業”しており、また、初めて、と2回以上、を合わせると8割以上がレース初心者、またはそれに近い層であり、レース初心者のための大会として捉えられているといえる。特に12耐はその傾向が強いと云える。

●8耐出場回数

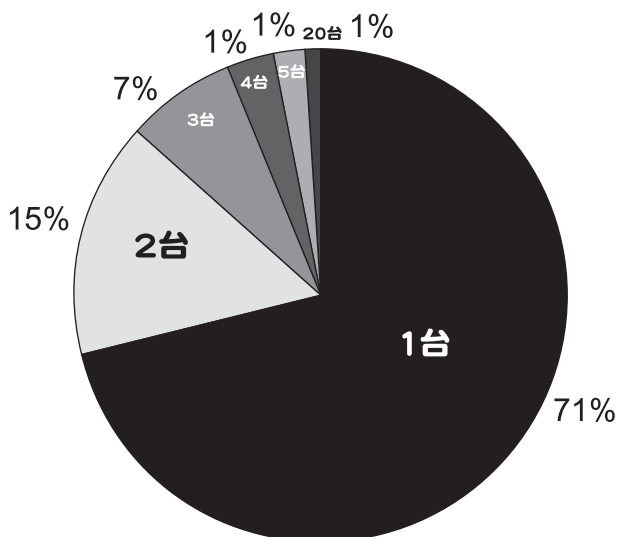


●12耐出場回数

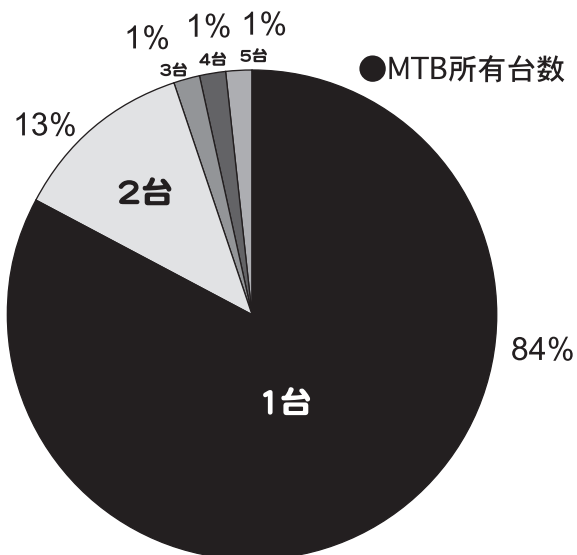


自転車保有台数

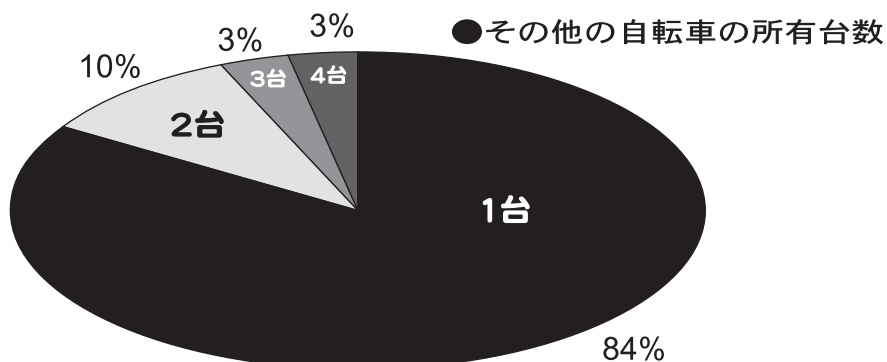
ロードレーサー、MTB、そしてその他の自転車の所有台数の約80%が1台という結果からも、12耐の参加者の多くが自転車歴の短い初心者や入門者であることが伺われる。



●ロード所有台数



●MTB所有台数



●その他の自転車の所有台数

アンケートにお答えいただいた方に、もれなく**キーホルダーライト**をプレゼント！

全日本12時間耐久サイクリングinつくばの参加自転車調査にご協力ください！

(★わかる範囲で、メーカーなどを記入ください)

どんな自転車で参加されますか？

●自転車メーカー名／	品名／		
●基本コンポーネント（チェーンホイール、ディレーラーなど）メーカー名／	品名／		
●ホイールメーカー名／	品名／		
●タイヤメーカー名／	品名／		
●サドルメーカー名／	品名／		
●自転車をどこで買いましたか／	ショップ	ネット	その他

どんな装備で参加されますか？

●ヘルメットメーカー名／	品名／
●ジャージメーカー名／	パンツメーカー名／
●シューズメーカー名／	品名／
●サイクルコンピュータメーカー名／	品名／

差し支えなければ、プロフィールを教えてください

●年齢	歳	●性別	男	女		
●自転車競技歴	年	●サイクリング歴	年			
●耐久出場歴	○つくば8時間	はじめて	2回以上	5回以上	10回以上	
	○つくば12時間	はじめて	2回以上	5回以上	10回	
●その他の大会参加歴／	ロードレース	MTBレース	ヒルクライム	耐久	サイクリング	
●自転車保有台数	○ロード	台	○MTB	台	○その他	台

ご協力ありがとうございました。大会終了までに大会本部（11番ピット）にお届けください。
引き換えに**キーホルダーライト**をプレゼントいたします。

2006全日本12時間耐久サイクリングinつくば実行委員会

平成18年12月発行
財団法人 日本サイクリング協会
〒107-0052 東京都港区赤坂1-9-3日本自転車会館
TEL03-3583-5628 FAX03-3583-5987
<http://www.j-cycling.org/>

本報告書の無断転載を禁じます



競輪補助事業

<http://keirin.jp>

